11月30日（土）に静岡市で開催される第25回静岡県市町対抗駅伝競走大会に下田市の代表選手が出場します。ぜひ代表選手への応援をお願いします！！

〇下田市代表選手（敬称略）

酒井　航羽（下田小）
小林　駿弥（稲梓小）
梨本　琥汰朗（浜崎小）
西村　采亜（稲生沢小）
谷口　梨紗（下田小）
酒井　琉希（下田中）
野田　瑞稀（下田中）
日吉　佑斗（下田中）
山口　清夢（下田中）
堤　ひかる（下田中）
矢田部　和心（下田中）
山口　珠莉（下田中）
松下　優紀（下田高南伊豆分校）
鈴木　茜（加藤学園高校）
武藤　朱星（韮山高校）
土屋　瑚拍（伊豆森林組合）
舩津　弘貴（下田消防）
片井　麻琴（千葉大）
深澤　萌（下田消防）
鈴木　勝弓（下田ＯＡ）
進士　幹人（下田市観光協会）

主将　鈴木 勝弓

人口が少なく、選手層も薄い下田市が強くなるにはどうすればよいのかという課題に対し、個人の能力を上げようと考え、練習に参加してくれたメンバーを一生懸命鍛えられるような練習メニューを日々考えてきました。特に小学生、中学生は選ばれて終わりでなく、その上のレベルの戦いがあるので、今の自分に満足する事なく上を目指して練習するように指導してきました。

大人が行うレベルの高い練習に子どもたちも参加し、強度の高い練習を繰り返してきました。チーム全員で上を目指したいと思います。市民の皆さまからの応援も力になりますので、沢山の応援をお願いします。

副主将　舩津 弘貴

今年度から髙橋新監督のもと、ゴールタイム２時間25分台を目標として始動し練習に励んでいます。この目標タイムは過去の下田市チームを超える必要があり、昨年からは５分の短縮をしなければなりません。

今大会に対する監督からの強い意気込みに一丸となり、下田市チームは１年を通じて練習を重ねています。その結果、先日行われた選考会では例年以上の選手争いが展開され、期待の21名を選出することができました。大幅にタイムを更新した選手もおり、チーム内競争が活発化することで戦う集団になってきたと感じます。２か月後の大会に向けチーム全体で目標の達成に向けて頑張りますので、応援の程よろしくお願いします。

下田開港170周年記念事業

開国のカケラを集めて

～津浪の記憶～

下田の人が最も恐れる天災は「津波」かもしれません。

下田町は、江戸時代だけでも3回（元禄・宝永・安政）津波被害を受けました。特に170年前に下田を襲った安政東海地震による大津波は町に壊滅的な打撃を与えました。

安政東海地震

安政元年（1854）11月4日午前に遠州灘で発生した安政東海地震は、推定マグニチュード8．4、被害は関東から近畿に及びました。

下田での揺れは「石塔が倒れる（川路日記）」程度でしたが、間もなく大津波が町を襲いました。7～8回の波が数時間にわたり押し寄せたといい、特に第二波が強烈で「黒煙を立てた大浪が千軒の町屋を将棋倒しのように打ち砕いた（松浦武四郎日記）」と記され、また、湾内に停泊していたディアナ号の航海誌には「海面が6．4メートル以上の高さになり、海が町全体を覆いつくした」、波が沈静化した後「湾は町の建物の破片で埋め尽くされ、陸地が広がったように見えた」と記録されています。

町屋841軒が全壊、人口3，851人の内、死者99人という大災害でした。

津波後の風景は凄惨でした。「嵐や火事の後は何か残るが、津浪の後は、洗いざらい流され石が散らばるだけ（航海誌）」となり、「親を尋ね、子を探す」混乱の中、逃げ延びた人々は山で不安と空腹で眠れぬ夜を過ごしました。

復興事業

幕府は、津波後も開港場下田を維持する方針でした。そのため、多額の公金を下田復興に充て、波除堤防の再築や欠乏所の設置、奉行所の建築等を計画的に進め、町も幕府の支援を得て町内の再整備と町民生活の安定に尽力しました。震災の翌年は復興工事に費やし、以降、安政6年の神奈川開港（下田閉鎖）まで、西洋諸国に開かれた港としての役割を果たし続けました。

津波から復興した開港場下田
（森義男模写「安政5年 下田港之図」）

安政津波の犠牲者数は、家屋被害に比べ相対的に少ないといわれています。それは、過去の震災経験から「大きな地震の後に津波が来る」ことを町民が教訓としていたからでしょう。

津波の被害を何度も受けながら、それを乗り越え、発展させてきた歴史が、この町に刻まれています。

問合せ先
企画課政策推進係
（河内庁舎2階）☎㉒2212

～つながる・未来・グローカル～

下田開港170周年記念事業　防災講演会

安政の大津波を語り継ぐ～歴史から学ぶ防災～

本年は「安政の大津波」から170年を迎える年であり、歴史を振り返えるとともに、防災力の向上につなげるため講演会を開催します。

日時　12月16日（月）18時30分～20時30分
場所　下田市役所　河内庁舎1階　多目的室
講師　建築研究所 特別客員研究員
　　都司　嘉宣（つじ　よしのぶ）氏

～講師略歴～
元東京大学地震研究所地震火山災害部門准教授
古文書の解読により地震、津波を研究する地震学の第一人者

問合せ先　企画課政策推進係
（河内庁舎2階）☎㉒2212

下田開港170周年記念事業

未来の下田　作文コンクール

テーマ　「未来の下田」について
対　象　市内小学校・中学校・高校に通う児童・生徒及び 下田市出身の高校生
期　間　令和7年1月24日（金）まで
表彰・発表
受賞者は、令和7年3月2日（日）に市民文化会館で開催する、「国際友好コンサート＆こども未来発表会」にて表彰式を行います。
また、下田市長賞の受賞者は、作品を発表する場を設けさせていただく予定です。
その他詳細は、市HP又は、二次元コードから募集要領をご覧ください。

問合せ先　企画課政策推進係
（河内庁舎2階）☎㉒2212